

石切山脈



(表紙写真提供：笠間市観光課)

八溝山系の最南端、日本三大石材産地の1つといわれる筑波山地・笠間市稲田地区。ここに、全国的にも有名な高級石材「稲田御影石^{みかげいし}」の採掘場「石切山脈」があります。

石切山脈に一步足を踏み入ると、規則的に切り出された山肌や翡翠の色に染まる池など、まるで古代遺跡を思わせる神秘的な空間が広がります。

稲田御影石は、この採掘場を含む東西約20km、南北約10kmの範囲に多く埋蔵しており、稲田地区は日本最大級の御影石の産地として知られています。

稲田御影石は、約6,000万年前にマグマが地下でゆっくりと冷え固まってできた黒雲母花崗岩です。その輝くような白さから「白い貴婦人」とも呼ばれています。

江戸時代より石材として利用され始め、1889年（明治22年頃）から本格的に採掘が開始されました。東京にも近く、豊富な埋蔵量を有していることから、最高裁判所をはじめ、日本銀行本館、明治神宮などにも使用され、日本の戦後復興と経済発展を支えてきました。

近年では、2017年にJR東京駅「丸の内駅前広場」の石畳に利用され、白く輝く様子が首都・東京の玄関口に気品を与えています。また、県内では茨城県庁舎や笠間稲荷神社の門前通りの石畳にも使用されています。

この夏、ご家族・ご友人とともに、日本の経済発展を支え、現在では、絶景スポットとして、映画やドラマのロケ地としても人気を博している石切山脈へ足を運んでみてはいかがでしょうか。



◆場 所：茨城県笠間市稲田4260-1
(憐想石 稲田営業所内)

◆アクセス：

【車】北関東自動車道「笠間西IC」より約10分

【電車】JR水戸線「稲田駅」より徒歩20分

◆石切山脈の見学については、事前に憐想石へ直接ご連絡ください。

電話：0296-74-2112

憐想石HP：<http://www.sou-seki.com/>

定休日：土日祝

料金：無料